

## 博士論文内容の要旨及び博士論文審査結果の要旨

氏名(生年月日)	平田 淳也	(****年**月**日)
本籍	*****	
学位(専攻分野)	博士(リハビリテーション学)	
学位授与番号	甲第133号	
学位授与日付	平成27年3月13日	
学位授与の要件	学位規程第3条第3項該当	
論文題目	上肢運動器疾患患者の日常生活活動能力向上に対する介入方法考案のための研究	
審査委員	教授 井上 桂子	教授 古我 知成
	教授 渡邊 進	

### 博士論文内容の要旨

本研究の目的は、上肢運動器疾患患者の日常生活活動能力向上に対する介入方法を考案することである。本論文は、3つの研究データから構成されている。まず第1章では、上肢運動器疾患患者の日常生活活動能力に関連する因子を手術前後で検討した。その結果、術後の日常生活活動能力制限には身体機能低下だけでなく不安感が関与していることが示され、術後のリハビリテーションにおける不安感軽減の必要性が示唆された。そこで、第2章では、手術を行う上肢運動器疾患患者を介入群と対照群に分け、介入群には運動指導と不安軽減を目的とした日常生活指導を行い、群間を比較した。介入群では身体機能と心理機能の改善が認められたが、日常生活活動能力の改善は見られなかった。そこで、第3章では、効果的な介入方法考案のための基礎的資料作成を目的として、術後の上肢運動器疾患患者の日常生活活動能力に強く影響する痛みの強さの予測因子としてどんな心理因子が有用であるかを検討した。その結果、破局的思考が予測因子として抽出された。このことから、早期に患者の破局的思考について評価を行うことが慢性痛予防に有用であることが示唆された。

### 博士論文審査結果の要旨

論文は、上肢運動器疾患患者の日常生活活動能力向上に対する介入方法考案のための研究であり、臨床に関係の深い実践的かつ新規的なものである。貴重な患者のデータをもとに、作業療法士としてどのような介入がよいのかをクリアな結果と妥当な統計データから論じている。論文は、全体的に流れよく構成されており大変理解しやすい。論文内容は、権威ある学術雑誌2編(和文誌:1編、英文誌:1編)に掲載されており、質は十分保障されている。

審査の結果、本論文は博士論文に十分に値し、合格と判定された。